

本校から2頭の牛が、第3回和牛甲子園へ出場することが決定しました。和牛甲子園とは、肥育した牛の肉質や、学校で実施してきた体験発表の内容を競う大会です。全国から約30校、45頭の牛が集まります。本校でも約2年前から和牛甲子園出場を目指して、牛の肥育に挑戦してきました。

生まれたときは40cmにも満たなかった子牛たちは、約28ヶ月の肥育期間を経て、現在約700gにまで大きくなりました。今回の大会には4人の生徒が出場します。体験発表や枝肉共励会など、普段体験することのできない



和牛甲子園

集え！高校牛児たち！！

## 第3回和牛甲子園出場決定！



貴重な経験ができることでしょう。参加する4名の生徒は、当日までしっかりと準備をし、牛たちのためにも精一杯がんばってきましょう。

また、現在牛舎では、来年の和牛甲子園出品予定牛、さらに、再来年の出品予定牛も飼育しています。約2年半という長い飼育期間の中で、牛を担当する生徒と共に、牛もすくすく大きくなってくれることでしょう。

和牛甲子園は1月に品川で行われます。良い報告が出来るよう、動物科学部一同、残りの飼育期間も愛情たっぷり、精一杯に牛と向き合っています。

## 0頭からの養豚経営再建を目指して



2月から7月まで田原市内の養豚農家を脅かした豚コレラ。本校での発症はなかったものの、養豚農家が多い地域ということもあり、予防的に本校の豚をゼロにすることにしました。約半年をかけ、約150頭以上飼育していた豚全頭を出荷完了。現在、本校に豚は1頭もいません。しかし、地域のワクチン接種が完了したため、新しい豚の導入に向けて動き出しました。現在は、今まで使っていた豚舎の掃除および改善を、実習の中で実施しています。また、プロジェクト活動の一環として、畜舎内のネズミなど、病気を媒介する動物の対策に関する実験も行いました。さらに、地域の養豚関係イベントにも参加し、地域にも私たちの活動を知らせてもらっています。目標は年度内に豚を導入！これからの動物科学部の取組みに、ぜひ注目してみてください。

## 今月の動物情報

本校では現在16頭の母牛を飼育しています。発情した牛には、獣医さんが人工授精を行い、随時、分娩があります。和牛の妊娠期間は285日といわれ、生徒でも運が良ければ出産に立ち会うこともできます。これから分娩など様々な動物情報を掲載していきます。もしかしら、自分と同じ誕生日になる牛が生まれるかもしれませぬ。

予定日	母牛名
11月17日	ほるん
11月27日	みこ

## 専攻生のつがやき

担当：青山 貴哉

動物が好きで、動物科学専攻を選び、牛の除糞と豚の処置、鶏の解体など、多くの実習を行ってきました。ある日の実習では、怒った牛に頭突きされたこともありました。可愛いので、いつも許してしまいます。実習の様々な経験の中で動物を扱うということもあり、責任感が身についたと思っています。実習を通じて動物を育てる。そして食べるという経験をしました。その中で「いのちをいただくことの大変さ」を学ぶことができました。この経験が僕の高校生活で大きな収穫です！

